

氏名	竹内 芳子
学位の種類	修士 (看護学)
学位記番号	修士 第 195 号
学位授与年月日	平成27年9月16日
学位論文題目	中規模病院と大規模病院の看護管理者のコンピテンシーの比較とその影響要因の検討

論文内容要旨

※整理番号	197	(ふりがな) 氏名	たけうち よしこ 竹内 芳子
修士論文題目	中規模病院と大規模病院の看護管理者のコンピテンシーの比較とその影響要因の検討		
<p>【目的】 中規模病院と大規模病院における看護管理者のコンピテンシーと影響要因を比較する</p> <p>【方法】 全国 200 床以上 299 床の中規模病院 316 施設と 500 床以上の大規模病院 244 施設のうち、同意の得られた施設の看護管理者 504 名に調査票を配布した。回収は郵送法とし、回答の郵送をもって同意を得たこととした。 調査内容：基本属性と「看護管理者のコンピテンシー評価尺度」(本村, 2013) を使用して構成した。 データ分析：基本属性は、記述統計を算出した。看護管理者コンピテンシー評価尺度の得点を、大規模病院と中規模病院を比較した。又、尺度の合計点の中央値を高得点群と低得点群の2群に分け、各変数間の関連をみるためにクロス集計を行い、離散量はχ^2検定、連続量は Mann-Whitney の U 検定を行った。尺度全体の合計点および下位項目因子は Mann-Whitney の U 検定を用いて属性による差を分析した。病院規模別に分類した変数を従属変数とし、独立変数には属性に関する変数の中から、交絡因子、多重共線性を検討し、ロジスティック回帰分析を行った。看護管理者のコンピテンシーへの影響要因については、看護管理者コンピテンシー合計点の高得点群、低得点群に分類した値の変数を従属変数として、ロジスティック回帰分析を行った。データの分析には、統計解析パッケージソフト SPSS 22.0 を使用した。</p> <p>【結果】 調査票の回収数は、中規模病院 199 名、大規模病院 162 名の計 361 名 (回収率 72%)、最終有効回答の中規模病院 191 名、大規模病院 158 名の計 349 名 (有効回答率 69%) を分析の対象とした。中規模病院と大規模病院とでは、看護管理者コンピテンシー評価尺度の合計点に有意な関連はなかった。また、病院の規模が看護管理者コンピテンシーに与える影響においても有意な関連はなかった。看護管理者のコンピテンシー尺度の合計点の中央値をもとに高低群に分類し、それぞれの規模で、属性との関連を比較したら、中規模病院では、看護師経験年数、看護管理者教育、結婚、子供、昇進の規定、結婚、大規模病院では、看護師ラダーで有意な関連を示した。</p> <p>【考察】 看護管理者のコンピテンシーに関する教育・支援を行うことで、看護管理者のコンピテンシーが向上する可能性が考えられる。看護管理者のコンピテンシーを向上するために、中規模病院では、看護管理者は、セカンドレベル以上の管理者研修受講の機会や参加を促し、自施設での昇進の規定を設定すること、また、育児とも両立できるようライフ・ワーク・バランスを整え、看護師経験を重ねることが必要で、その結果、コンピテンシーに影響を与え、人材育成に活かせることで、質の高い看護が提供できると考える。</p> <p>【総括】 本研究では、看護管理者のコンピテンシーに規模別では差がないことが分かった。コンピテンシー評価を行うことで看護管理者の行動特性を明らかにし、看護管理者にとって効率的な人材育成や能力開発につなげることができるのではないかと考える。</p>			

- (備考) 1. 研究の目的・方法・結果・考察・総括の順に記載すること。(1200 字程度)
2. ※印の欄には記入しないこと。